

# 学長・会長対談

## コロナ禍における大学と 父母会活動について

# 二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊  
令和2年10月20日発行  
(第110号)

二松学舎大学父母会  
(本部・事務局)

東京都千代田区三番町6番地16  
二松学舎大学学生支援課

題字は  
故 観山貞広常吉先生書



二〇二〇年九月五日(土) 父母会  
役員会が開催され、役員会終了後、  
細谷文雄父母会長が江藤茂博学長を  
訪ね、瀧田浩学務局長(父母会副会  
長) 立会いのもと意見交換を行いま  
した。

コロナ禍により父母会として予定  
していた定期総会の学内開催の中止  
(郵送による議決・委任状回収)、地  
区別父母懇談会が中止になるなど運  
営が難しい中で、父母会としてどの  
ようなことに協力できるかについて  
大学側の考えをお聞きしたいとの意  
向により実現の運びとなりました。

細谷父母会長からは父母を代表し  
て、六月に実施された「特別給付金  
制度(学生一律五万円の給付)」な  
ど、大学のコロナ禍支援策及び大学  
による感染拡大防止対策等について  
の感謝とともに、今後も学生第一の  
観点での大学運営をお願いしたいと  
の申し出を行いました。

江藤学長からは、現在のコロナ禍  
の中、これまでの状況と秋 semester  
に向けて大学の対応について説明  
がありました。

主な内容は、以下のとおりです。

### ○活動指針の策定

コロナ禍に対する大学の対応につ  
いて、活動指針を設け、感染状況を  
見極めながら、社会の状況に合わせ  
て、対応していく。

九月十四日(月) から、秋 semester



(江藤学長)



(細谷父母会長)

ターの授業が始まるが、当初はオンライン授業を継続する予定であるが、状況が改善していくようなら、順次見直しを行い、対面の授業も増やしていきたい。

○大学だけがオンライン授業のままであることについて

世間では、小中高が授業を行って

いるのに大学はオンラインのままであるとの批判を受けているが、本学に限らず、大学生は全国から学生が集まっていること、個々の学生の行動範囲が広いことなどから、どの大学でも即座に対面授業に切り替えることが難しい状況である。

本学も、九段キャンパスは都心のビル型キャンパスという関係上、エレベーターでの移動など難しい問題を抱えており、対応を協議しているところである。

そのような中、本学では、今週(注：九月一日～五日)は、文学部において「基礎ゼミウィーク」と称して、一年次生に大学に来る機会を設けたり、来週(注：九月七日～十日)も学年ごとに人数を調整しながら健康診断を行うなど、感染防止の徹底を図りながら、大学へ来る機会を増やしていきたいと考えている。

○オンライン授業について

本学でもやむを得ず、春semesterは、オンライン授業の対応を行ったが、教員は日々授業改善に努力していること、またFD(ファカルティ・デイベロップメント)として、教員同士で意見交換・情報交換を積極的にやっている。

また、学生にもアンケートを取り問題点の洗い出しを行っている。

秋semesterもオンライン授業は継続せざるを得ないが、今後も授業

内容の改善は日々行っていくことになる。

状況を見ながら対面授業(通常授業)を行う科目も増やしていくことを予定しているが、一方で、大学に来ることに不安を抱えている学生・父母の意見も尊重し、両者のバランスを取りながら、あるべき「二松学舎の学び」の姿を考えていきたい。

○卒業式・卒業パーティーについて

昨年度もぎりぎりまで開催に向けて努力を続けてきたが、状況が許さずやむを得ず、変更をせざるを得なくなってしまう。(注：中野サンプラザでの卒業式は中止、大学において卒業証書の授与を行う。ホテルグランドパレスでの卒業パーティーも中止とし、卒業生全員にアマゾンギフト券を贈呈)

今年度も予断は許さないが、コロナ禍でもできることをやっていきたいと思っている。特に卒業パーティーは、父母会に多大なる協力をいただいているので、引き続きよろしくお願したい。

○地区別父母懇談会について

今年度は、地区別父母懇談会も中止をせざるを得なかったが、オンラインでの配信なども検討してはどうか(事務担当の学生支援課に向けて)

○大学の知名度向上について

現在、渋沢栄一が大河ドラマ化されること、新札に起用されることなど話題となっているが、渋沢は本学の学祖三島中洲と親交があり、中洲の没後、本学の舎長を務めているなど、所縁の深い人物である。

本学からも積極的に発信し、広報活動に努めていきたいと考えている。

最後に江藤学長から、これからも父母の皆さまのご協力を得ながら、「できるところ、できること」を少しずつ動かしていきたい、一日も早く通常の状態に戻せるようにしていきたいと思っております。ご理解いただいたの要望がありました。

当初三〇分ほどの予定でしたが、懇談は一時間に及び、終始和やかな中にも貴重な意見交換が行われました。



二〇二〇年度の春セメスターは、折からのコロナ禍で、対面で数十分お話しするようない、従来のカウンセリングを行うことが難しくなっています。しかしながら、学生たちの悩みや辛さがなくなっただけではありません。むしろ、大変な思いをしていたり、悩みを抱える学生は増えています。そこで、学生相談室

**学 生 相 談 室**  
**だ よ り 110**  
カウンセラー **矢部浩章**

文章にするということは、声で発すること以上に、自分自身を考え、思いをまとめることが必要になります。文章で伝える場合、ある一言を選ぶのに、どれだけの時間をかけるかは、ほぼ自由です。極端に言えば、一言に一時留めず考え、文章を紡ぎ出しても、対

面でも会話している時のように、相手を持たせることはありません。その分、自分自身の悩みや考えにじっくりと対峙することになるのです。リアルタイムのやり取りを基本にした電話相談やオンライン相談にはない特徴です。そもそも、誰かの文章を読むという行為自体、自己と向き合った記録を読む、という側面があるのかもしれない。

あるのかもしれない。その点では、二松学舎の多くの学生は、文学などを通して、文章で自己表現すること、そして読み解くことになじみがあるのでしょう。同時に、文章での相談は、とてもエネルギーを必要とするものです。必要性や状況に応じて、文章以外に相談方法を充実させることも必要です。

秋セメスターは、メール相談・オンライン相談、そして電話相談に加えて、十分に感染対策を講じた上での対面相談も受け付けています。多くの学生が、自分に合った形で、学生相談室を利用してくれるのをお待ちしております。

**●新しい生活様式と新しい就職活動**

新型コロナウイルスにより新しい生活様式が求められ、その実践が必要なか、企業の採用活動でも新しい手法が導入されています。

三密にならないようにであるとか移動時のリスク軽減とか、必要性があつて導入されているオンライン手法ですが、それによって評価方法や評価ポイントも変わってきています。

**ア**  
**ー**  
**リ**  
**タ**  
**リ**  
**60**  
**キ**  
**セ**  
**だ**

きるよう、キャリアセンターでは対策講座を実施していきます。何が必要かを理解し、対策し、訓練することで、よりよい対応ができるようになります。

ご父母におかれましては、ご子女の就職活動において、環境にご配慮いただければと存じます。

周囲で騒音・雑音が発生しないように、インターネット通信環境が安定するように、ご協力いただけるようお願いいたします。具体的にはインターネット接続の高速回線をご用意いただいたり、接続機器(ウェブカメラ搭載のPCやヘッドセット)などをご準備いただけると、ご子女も喜ばれると思います。

オンラインで就職活動を行なうのは、交通費が発生しない、移動時間が節約できるなどのメリットがあります。このメリットは、受ける企業数を増やすことに繋がります。

オンラインのメリット・デメリットを理解し、新しい就職活動を乗り切るために、ご父母の皆様にもご協力いただけますと幸いです。

### 「安否確認サービス」の運用開始に伴う登録について

全国各地で多発している地震やその他広域災害に備え、学生と学校法人二松学舎との連絡手段として、セコムトラストシステムズ株式会社が提供する「安否確認サービス (e革新きずな)」を導入しました。学生の皆様には必ず初期登録をして頂くようにお願いしています。

#### 1. サービス概要

**セコム安否確認サービス - サービスの概要 -**

**▼サービスの概要**  
「セコム安否確認サービス」は、企業の危機管理の一環として災害時における社員の安否確認をサポートするシステムです。災害時、企業の管理者は社員や社員の家族の安否確認を優先し、各地の被災状況の情報を収集することで事業の早期復旧を目指すものです。

**▼登場人物(各権限)について**

利用者……	一般社員です。安否確認メールを受信した際には安否状況の報告をおこないます。
管理者……	安否確認メールの送信をおこない、利用者の安否状況の集計を確認することができます。

**▼サービスのイメージ図**

**安否確認の流れ**

- 1 あらかじめ取決めをした災害が発生するとセコム災害監視センターから管理者へ災害情報が通知されます。
- 2 セコム災害監視センターもしくは管理者から、利用者へ安否確認の電子メールが送信されます。  
・セコム災害監視センターからの送信はあらかじめ取決めをした災害が発生した場合です。
- 3 利用者が安否情報を報告します。  
・専用ホームページから「本人の安否」「出社可否」「家庭の状況」を登録、コメント欄にその他の状況を記入します。(パソコン/携帯から操作可能)  
・電子メールの返信でも安否の報告が可能です。  
・電子メールの案内に従い「本人の安否」を入力して返信します。  
・電話(音声自動応答)でも安否の報告が可能です。  
・音声案内に従い、「本人の安否」と「出社可否」についてボタン操作で報告します。音声も登録できます。  
・【オプション】専用ホームページの現地状況報告画面に、事業所・インフラ・重要取引先の被災状況などを報告します。
- 4 管理者は専用のホームページで利用者の安否状況や現地の被災状況を確認します。  
管理者が専用ホームページのトップ画面に指示事項を掲載したり、利用者が専用ホームページの掲示板に情報を掲載することで、情報を共有化できます。

Copyright 2007 SECOM Trust Systems Co.,Ltd. All rights reserved. (v1.0)

※現在「あんびくん」の契約はしていません(検討中です)。

#### 2. 対象者

大学、大学院生(本科生)

#### 3. 登録(連絡)方法(※別途資料各「利用者用登録マニュアル」参照)

1. LINE連携登録、2. 専用アプリ、3. 個人メールアドレスの3つの登録方法がありますが、通信障害に備え、出来るだけ **2つ以上** の登録をお願いしております。

「安否確認サービス」は個人所有のスマートフォン・携帯電話やパソコンのメールアドレスを利用することになり、個人情報(メールアドレス等)の登録、管理は各自で行って頂きます。

#### 5. お問合せ窓口

二松学舎大学 学生支援課 TEL : 03-3261-7427  
E-mail : gakusei@nishogakusha-u.ac.jp

以上

### 編集後記

台風シーズンとともに秋も深まりつつありますが、未だ七月の豪雨の爪痕も残り、被災された方々には不自由な生活を強いられたいらっしゃることと心よりお見舞い申し上げます。

今年も新型コロナウイルスの発生によって、二〇二〇東京オリンピックをはじめ、多くのことが中止や延期となりました。

大学でも、会員の皆様が教職員の方々から大学の様子を聞いたりと、お話できる地区別父母懇談会が中止となりました。また、学生のおさまさま発表の場である創縁祭も残念ながら中止。それでも何かしたいという学生たちの思いから新生歓迎会を実施することとなりました。入学後ほとんど大学へ来ることのない一年生には大学の様子を知る良い機会となったのではないのでしょうか。

十月から東京もGOTOトラベルの対象となり、暗くなりながらも日常が少し明るくなってきましたね。まだ予断を許す状況ではありませんが、今後、なるべく早く状況が収束に向かい、かつての日常を取り戻すことができると思いますね。

今後も父母会として学生のためにできることを考え、大学と協力しながら支援して参ります。会員の皆様には引き続きご理解、ご協力いただけますようよろしくお願い申し上げます。